

スパコロ、「小学生のデジタル教材学習に関する調査」を発表

小学生ママの3人に1人がデジタル教材に興味アリ。コロナ禍で最も選ばれた教材は「チャレンジタッチ」

株式会社スパコロ（本社：東京都港区、代表取締役社長：林 秀紀）は、小学生の子を持つ母親 3,209 名を対象に実施した「小学生のデジタル教材学習に関する調査」の結果をご報告いたします。

コロナ禍において学習の手段・環境などやり方が変わってきているなか、今回は、デジタル教材を提供するサービスに注目し、その現状について調査しました。

<TOPICS>

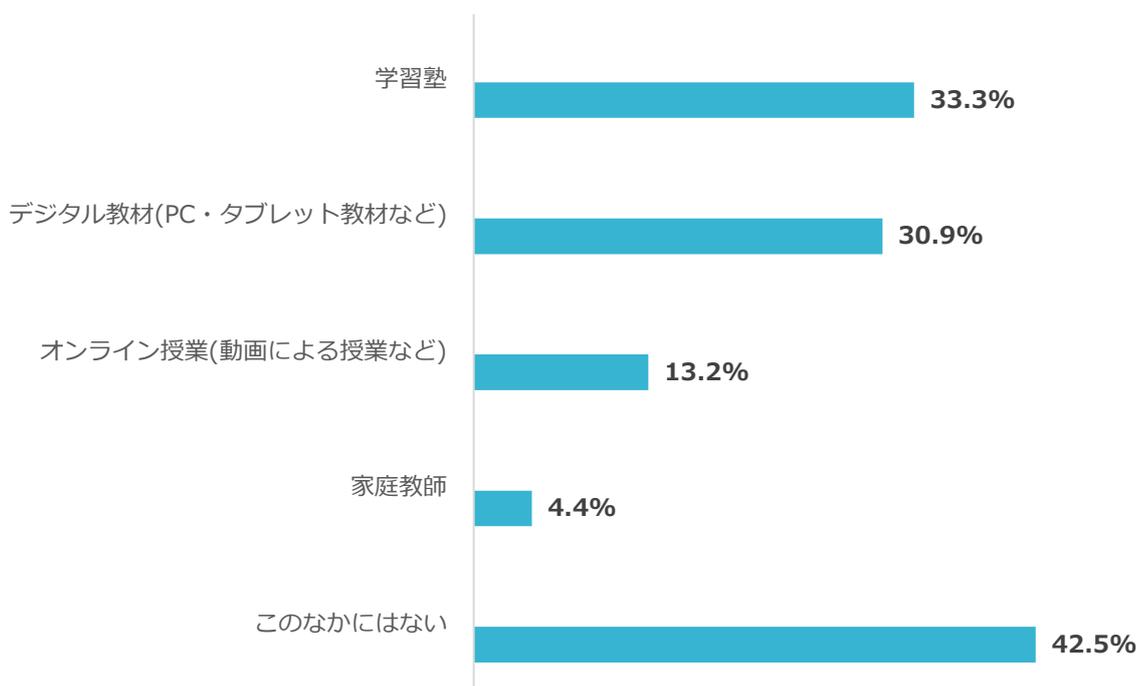
- ✓ 小学生ママの約 3 割が「デジタル教材」での学習に興味あり
- ✓ デジタル教材に興味を持つ小学生ママの約 3 分の 1 がコロナ禍でデジタル教材学習を開始！
- ✓ コロナ禍で、小学生ママに選ばれたデジタル教材サービス断トツトップは「チャレンジタッチ」で 4 割越え
- ✓ デジタル教材学習を始めた 2 大理由は、“コロナ禍の休校や授業数の減少”と“外出の自粛”
- ✓ デジタル教材学習に興味があるのに始めない理由のトップは、「どのサービスがよいか、よくわからないから」

■ 小学生ママの約 3 割が「デジタル教材」での学習に興味あり

小学生の子を持つ母親に現在、興味を持っている学習サービスについて聞いたところ、「学習塾」と「デジタル教材」での学習がほぼ同じ割合で、それぞれ約 3 割。これに対し、コロナ禍で増えた動画を使った「オンライン授業」の割合は 13.2%という結果となりました。

「オンライン授業」は、その需要とともにサービスが増えてきているものの、「学習塾」や「デジタル教材」にはまだ及ばない現状のようです。

興味がある小学生向け学習サービス

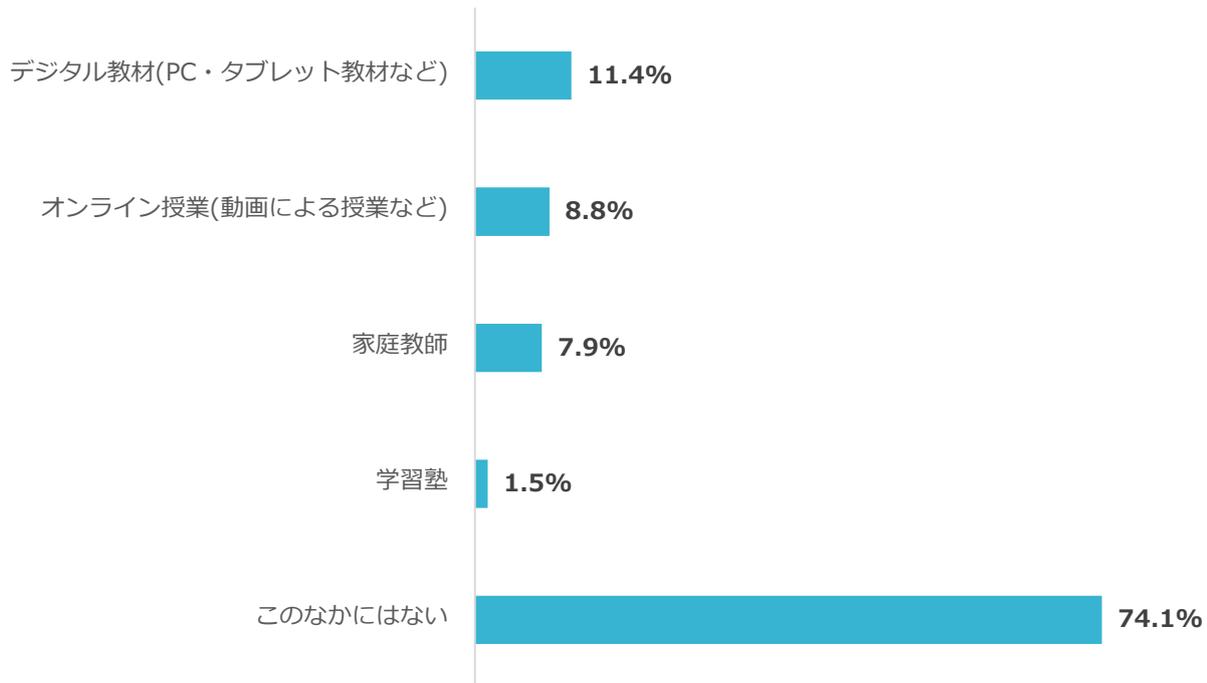


■デジタル教材に興味を持つ小学生ママの約 3 分の 1 がコロナ禍でデジタル教材学習を開始

コロナ禍において「デジタル教材」学習を始めた小学生の子を持つ母親の割合は 11.4%。

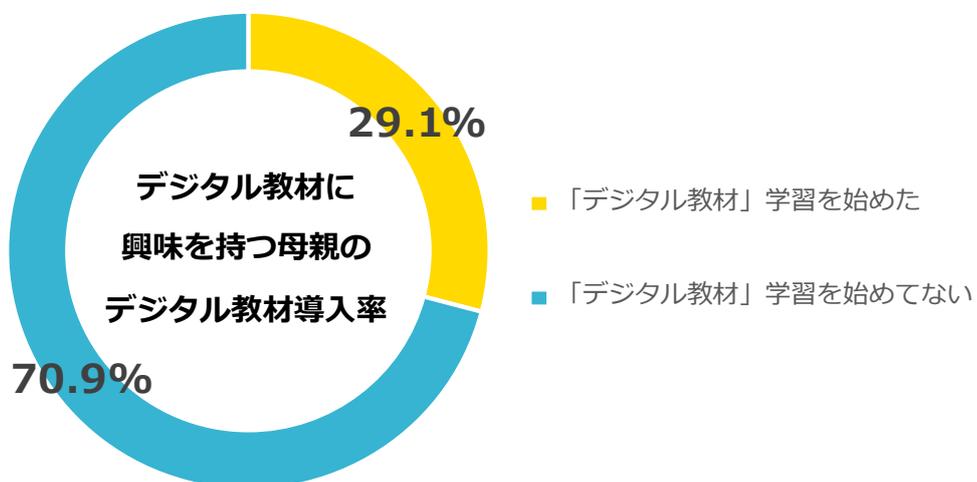
デジタル教材に興味を持つ母親における「デジタル教材」学習を始めた割合は 29.1%。興味があるのに始めていない割合は 70.9%という結果となりました。

コロナ禍で始めた小学生向け学習サービス



全国 長子が小学生の母親 n=3,209
 スパコロ 小学生のデジタル教材学習に関する調査

デジタル教材学習に興味を持つ母親における「デジタル教材」学習の導入割合

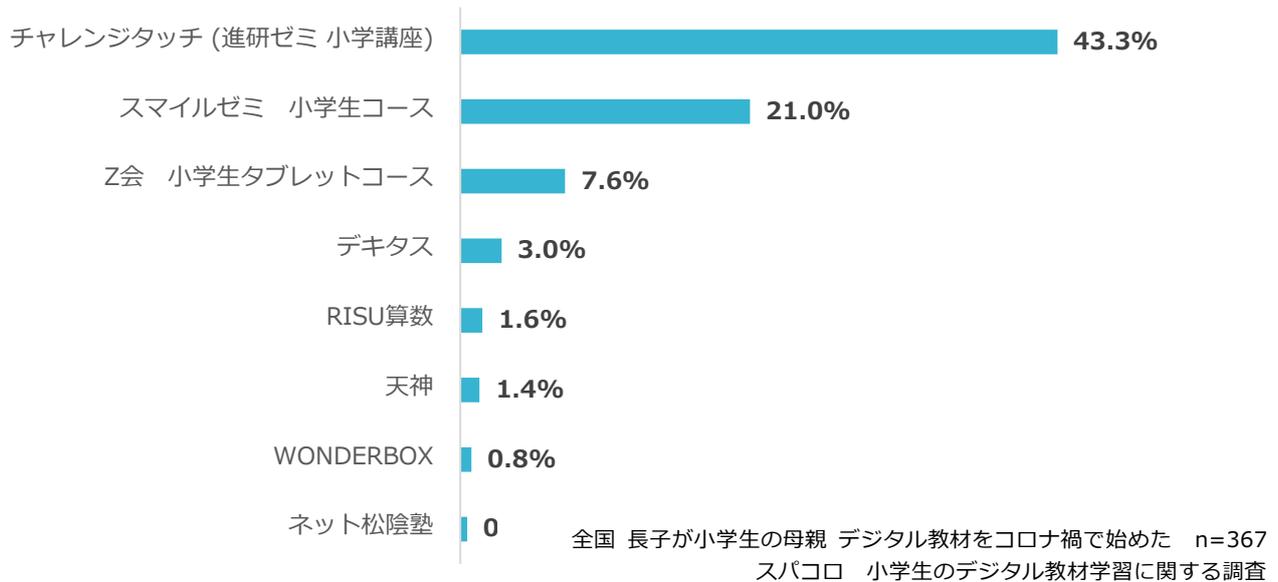


全国 長子が小学生の母親 デジタル教材に興味がある n=991
 スパコロ 小学生のデジタル教材学習に関する調査

■コロナ禍で、小学生ママに選ばれたデジタル教材サービス断トツトップは「チャレンジタッチ」で 4 割越え

コロナ禍で始めたデジタル教材学習サービスについてみてみると、デジタル教材学習を始めた母親のうち 4 割以上がベネッセの「チャレンジタッチ」を選んだという結果となりました。次いで利用開始率が高いのはジャストシステムの「スマイルゼミ」21.0%。これらのサービスは共通して専用タブレットがあり、自分でパソコンやタブレットを準備する必要がないという特徴があります。

コロナ禍で始めたデジタル教材サービス

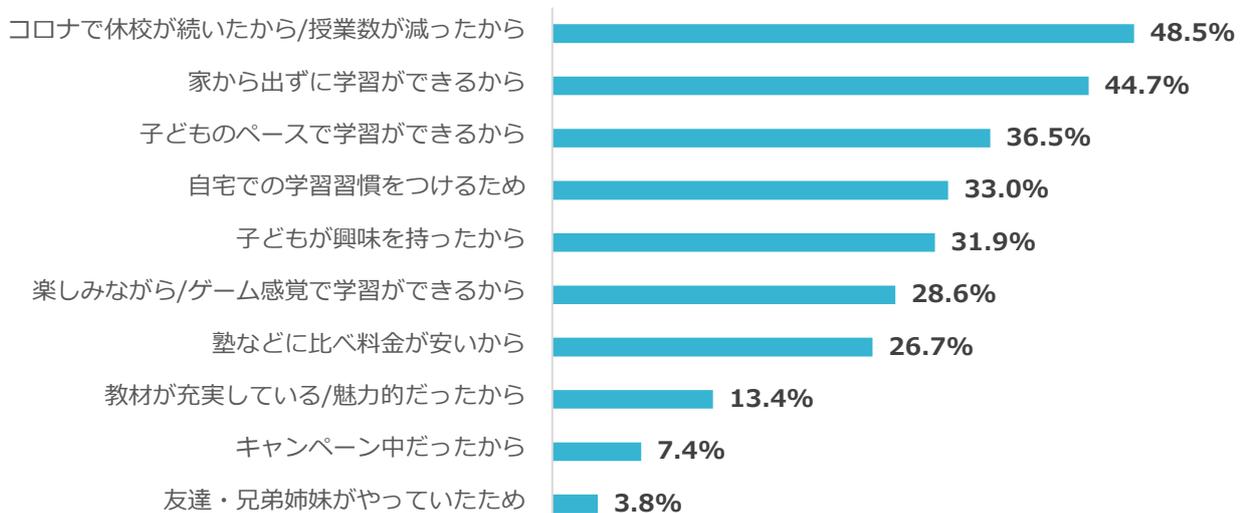


(※) 選択肢はデジタル教材主体のサービス

■コロナ禍でデジタル教材学習を始めた 2 大理由は、“コロナ禍の休校や授業数の減少”と“外出の自粛”

コロナ禍にデジタル教材を利用し始めた理由は、高い順に「コロナで休校が続いたから/授業数が減ったから」48.5%、「家から出ずに学習ができるから」44.7%。新型コロナによる学習量の減少や、塾に通うことを控えるなど、外出自粛を意識したものが半数以上みられる結果となりました。

コロナ禍でデジタル教材学習を始めた理由 TOP10



全国 長子が小学生の母親 デジタル教材をコロナ禍で始めた n=367
スパコロ 小学生のデジタル教材学習に関する調査

デジタル教材学習を始めた人の評価ポイントについてみると、「子どものペースで学習が進められる」、「ゲーム感覚で楽しみながら進めることができる」、「親が便利に感じる/学習サポートの負担が減る」、「学習時間を自分で決められる」などの意見が目立ちました。

＜デジタル教材の良いと思う部分 自由回答ピックアップ＞

子供のペースで学習が進められる

- ◇ 子供のペースで進められ、どこでつまづいたのかが親にも伝えられるところ。(小学 1・2 年生)
- ◇ 自分のペースで取り組めること、先に進めないので間違えた問題を繰り返しできるまでやるようになった。(小学 3・4 年生)
- ◇ 内向的で人と話すことが苦手だったりわからないところがすぐに言えなかったりする子ども、自分のペースでやれる。(小学 5・6 年生)
- ◇ こどものペースで 1 単科ずつ学習できる。プログラミングは楽しく学習できる。(小学 3・4 年生)

ゲーム感覚で楽しみながら進めることができる

- ◇ ゲーム感覚で楽しくやれるし学習習慣がついて 言わなくてもやるようになったから。(小学 3・4 年生)
- ◇ ただの勉強だけではなく勉強に紐づいてるゲームなどもあるところがいいと思います。(小学 1・2 年生)
- ◇ 紙の教材に比べ子供が前向きに楽しんで取り組んでくれ、間違いなおしや復習も積極的にするようになったから。(小学 3・4 年生)
- ◇ PC やタブレットを使うと自体に興味があり、率先して機器触たがるので勉強が楽しく。(小学 5・6 年生)

親が便利に感じる/学習サポートの負担が減る

- ◇ 親が教えてあげる時間がなくとも難しいところや勉強のコツを伝えてくれる。(小学 3・4 年生)
- ◇ 親に何か言われると嫌がるがキャラクターに言われると素直に受け入れられる所が良い。(小学 1・2 年生)
- ◇ 家において出来るので習い事の送り迎えがないのが楽です。(小学 1・2 年生)
- ◇ 親では甘えて反抗したりするので、自動で丸つけしてくれると親の負担が減ってとても良いと思います。(小学 1・2 年生)

学習時間を自分で決められる

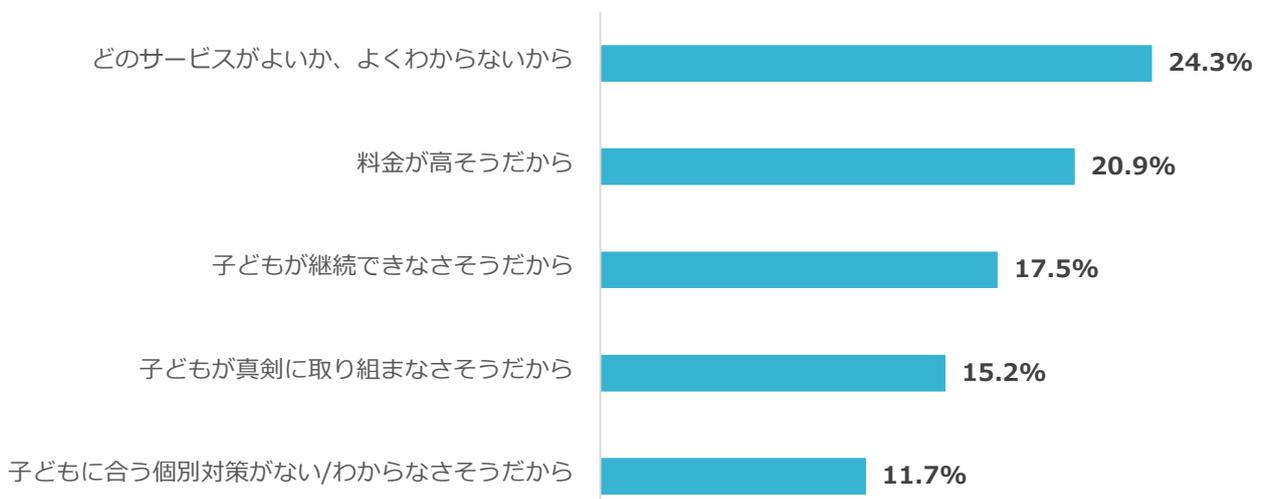
- ◇ 曜日時間を気にせず、空き時間にできること。他の習い事を優先できること。(小学 3・4 年生)
- ◇ こどもが自分で学習時間をコントロールできる。思いついたときに学習できる。(小学 3・4 年生)
- ◇ 通うものは往復の時間がもったいない。タブレット教材などはその時間も有効に使える。(小学 3・4 年生)
- ◇ コロナ禍で友達との関わりが減ったので、友達と過ごせる機会を優先し、それ以外の時間に学ぶことができる。(小学 3・4 年生)

■ デジタル教材学習に興味があるのに始めない理由のトップは、「どのサービスがよいか、よくわからないから」

では、デジタル教材学習に興味があるのに始めていない理由は何なのでしょう。最も多い理由は「どのサービスがよいか、よくわからないから」で 24.3%。デジタル教材学習サービスに興味を持たれても、サービスの特長や利点などが理解されていないことで利用されていないことがあるようです。

2 位以降は、「料金が高そうだから」20.9%、「子どもが継続できなさそうだから」17.5%と続く結果となりました。

デジタル教材学習に興味があるのに始めていない理由 TOP5



全国 長子が小学生の母親 デジタル教材に興味があり始めていない人 n=703
 スパコロ 小学生のデジタル教材学習に関する調査

長期化する With コロナ生活のなかで、人と接触する必要がなく、自宅でも学習習慣をつけられるデジタル教材の需要は引き続き高いまま維持されていくことが予想されます。また、テレワークや学校でのタブレット配布なども始まってきている今、家庭内の通信環境も整備されてきており、デジタル教材学習だけでなく、オンライン授業のサービスも利用しやすくなってきている状況だと思われま

す。今後デジタル学習の機会が増えていくことによって、自宅でのデジタル学習が習慣化し、コロナ禍における一過性のことではなくスタンダードになっていくのかもしれない。

【調査概要】スパコロ『小学生のデジタル教材学習に関する調査』

調査方法 : 全国 長子が小学生の母親を対象としたインターネットリサーチ
調査期間 : 2021年2月12日(金)～2月15日(月)
有効回答数 : 3,209名

調査結果の詳細は下記「[スパコロ紹介サイト](https://service.supcolo.jp/)」からお問合せください。

<https://service.supcolo.jp/>

◇本件に関するお問い合わせ先◇

株式会社スパコロ 広報室 河野嵩大

Email : press@supcolo.jp